

生駒市医療介護連携ネットワーク協議会  
令和6年度 第2回在宅医療介護推進部会 会議録

開催日時	令和6年10月24日(木) 午後2時00分～午後3時30分
開催場所	Zoomによるオンライン
出席者 (部会員)	萩原部会員(部会長)、井上部会員(副部会長)、上原部会員、宅見部会員、佐々木部会員、北村部会員、吹留部会員、久本部会員、森本部会員、行徳部会員
出席者 (関係者)	ジェイエムシー株式会社(支援業務受託者) 1人 生駒市在宅医療・介護連携支援センター 堀井氏
欠席者	上野部会員、桐木部会員、山口部会員、倉本部会員、高山部会員、池田部会員、山岸部会員、三原部会員
事務局	子育て健康部 吉村部長、地域医療課 水澤課長、天野課長補佐、高瀬
傍聴	なし
案件	(1)講演 テーマ ロジックモデルを活用した在宅医療介護連携推進事業の取組評価について 一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 松本 佳子 氏 (2)報告 ①在宅医療・介護連携推進事業の目標を達成するための設計図について ②令和6年度 多職種連携研修会について (3)その他
資料	【配布資料】 次第 (資料1)ロジックモデルを活用した在宅医療介護連携推進事業の取組評価について (資料2)在宅医療・介護連携推進事業の目標を達成するための設計図(2024.10.24 版) (チラシ1)令和6年度 多職種連携研修会 人生会議(ACP) (チラシ2)令和6年度 多職種連携研修会 入退院調整マニュアルの活用方法 (チラシ3)令和6年度 生駒地区医師会 市民公開健康講座
議事の経過	
発言者	発言内容
事務局	1 開会 定刻になりましたので、ただ今から生駒市医療介護連携ネットワーク協議会 令和6年度第2回 在宅医療介護推進部会を開会させていただきます。  (配布資料確認)  ここからの議事の進行につきましては、萩原部会長にお願いいたします。
部会長	皆さんご出席ありがとうございます。本日の案件としまして1部で松本先生のご講演、2部で報告が2件となっています。松本先生に昨年度も見慣れないロジックモデルをかみ砕いて

部 会 長	<p>説明いただいて、今後また次回以降の研修に生かすべく、また、一段と理解を深めて生かしていただけるものと、期待半分不安半分でついていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。それでは講演の進行を事務局にてお願いします。</p> <p>2 案 件 (1)講演 テーマ ロジックモデルを活用した在宅医療介護連携推進事業の取組評価について</p>
事 務 局	<p>それでは、お手元の資料1または Zoom 画面をご確認ください。令和4年度から、在宅医療介護連携推進事業について、目指すべき姿を共有し、目標達成を行うために PDCA を回しながら、改善していくことを目的にロジックモデルの作成に取り組んでいました。</p> <p>令和5年度第3回の在宅部会にて、ロジックモデルについてお話いただいた松本先生に引き続き、講演をお願いしております。前回は、ロジックモデルとは何かを中心にお話をいただきましたが、今回は、ロジックモデルを活用した取組評価の方法や指標についてお話いただきます。</p> <p>今回の講演のポイントは3つ考えています。1つ目が、在宅医療・介護の4つの場面をロジックモデルで理解すること、2つ目が、次回以降の部会にて指標や取組評価を部会員の皆様に実施していただくために、ロジックモデルを活用した取組評価の方法を知っていただくこと、3つ目が、ロジックモデルと皆様の日頃の業務との関係性を知ることとしています。</p> <p>なお、今までは「ロジックモデル」とお伝えしていましたが、カタカナはなじみにくいのご意見がありましたので、「在宅医療・介護連携推進事業の目標を達成するための設計図」と名称を変更し、今後は、「ロジックモデル」ではなく、「設計図」とお伝えしていきたいと考えています。それでは、松本先生、よろしくお願いいたします。</p>
松 本 氏	<p>&lt;資料1に基づき講演&gt;</p>
事 務 局	<p>松本先生ありがとうございました。生駒市の「設計図」に関して先生から次回に向けてお話いただきましたが、もし今お聞きになっている皆さんから何か先生に聞いてみたいことがあればお願いいたします。</p> <p>ないようですので、講演に関しては以上です。資料を見直して何かあれば事務局に連絡いただければ、先生に質問を返させていただきますと思います。</p>
部 会 長	<p>松本先生ありがとうございました。最後の心理的安全性というのはいくつも挙げられるような、いくつもこんなことやっているのが、身につまされたのは私だけでしょうか。今日参加いただいている方は、現場ではベテランの域に入る、信頼され頼られている方々だと思うので、振り返ってみると、まずいのが、時代も時代ですから、次回にはいろいろな事例が出てくるのではないかとビクビクしています。</p> <p>でも視点としてはすごくわかりやすく、これをうまく物差しが作れたら一歩進めます。施設内や施設間同士もそうでしょうし、この気持ちがあれば乗り切れるのかなと考えながら聞</p>

部 会 長	<p>いていました。立場的にはマイナス面が掘り出されそうで怖いです。事例を挙げたら、今日もそうだったことがあるので次回に生かしたいと思います。</p>
松 本 氏	<p>くれぐれも私がお話したのは極端な例なのでそこだけお願いします。</p>
部 会 長	<p>全然極端じゃないと思いましたが、外部にはもらさないということで、次回やりたいと思います。ありがとうございました。</p> <p>それでは2の報告案件に移ります。まず、在宅医療介護連携推進事業の目標を達成するための設計図について事務局からお願いします。</p> <p>(2)報告 ①在宅医療・介護連携推進事業の目標を達成するための設計図について</p>
事 務 局	<p>(資料2に基づき事務局から報告)</p>
部 会 長	<p>ただいまの報告に関して、ご意見や質問はありますか。</p> <p>急変時の対応の5番の本人・家族へのアンケートのところ「C Mr」というのは何ですか。</p>
事 務 局	<p>ケアマネジャーの略語です。次回、誤字脱字含めて修正します。</p>
部 会 長	<p>1年前か2年前、A3の紙を初めて見たときに比べると具体的になりました。それで、今日の松本先生の講演を踏まえてみると、すごい見やすくなってきたと思います。事務局がどんどん進化しているようで、ありがたくこれに沿っていけるように、早く実用に向けられるように新たに頑張っていきたいです。</p> <p>(2)報告 ②令和6年度 多職種連携研修会について</p>
事 務 局	<p>それでは、皆様お手元のチラシまたは、Zoom 画面をご覧ください。今回、3種のチラシをご準備しています。開催日が早いものから順にご案内いたします。まずは、多職種連携研修会 人生会議(ACP)についてご案内です。</p> <p>これは、11月29日(金)14時～16時に開催いたします。場所は北コミュニティセンター ISTA はばたきを予定しています。講師は、2月の市民フォーラムの時に講師に来ていただいたおうちの診療所 中野の院長と(株)omniheal 代表取締役をされている石井 洋介氏を予定しています。今回は ACP とは何かということだけでなく、いつ・誰に・どのように実施するかという ACP のスキルや事例紹介など専門職向けの内容で講演いただきます。また、豊中市と開発されたボードゲーム(エンディングゲーム)を使って、他職種の方とゲームをしながら ACP を仮体験し、理解を深めていただきたいと思います。</p> <p>対象者は、市内の医療・介護事業所と考えていますので参加をお願いいたします。</p> <p>2つ目が、「入退院調整マニュアルの活用方法」です。前回の部会で、マニュアルの見直しについてアンケートを行いました。必要ありが5件、必要なしが4件でした。必要ありの項</p>

事務局	<p>目は事業所の更新や診療報酬改定についての意見が多かったので、指摘があった点は修正して、研修時に配布予定です。その他、運用や活用方法に関する見直しについては、この研修会でのご意見によって検討したいと考えています。開催日は、12月4日(水)14時～16時、場所は市立病院の7階 講堂・交流センターです。</p> <p>各事業所においてスタッフの入れ替えなどもあり、改めてこのマニュアルを理解し、入退院調整の相互理解を深めたいという目的で開催します。実践報告では、入退院調整マニュアルの活用について、医療機関ごとに、退院調整の窓口が分かりにくいという意見をケアマネジャーや包括の方から伺いますので、そのあたりを6名から報告いただきます。また、実践報告後には、入退院調整における課題や連携体制をテーマにグループワークを予定しています。入退院調整マニュアルの更新の有無や、先ほどの設計図の「入退院」における指標作成や事業評価につながる形で実施したいと考えています。</p> <p>なお、参加対象者は、実際に入退院調整マニュアルを利用している市内病院・ケアマネジャー・地域包括支援センター・小規模多機能型居宅介護事業所となります。</p> <p>3つ目が、令和6年度 生駒地区医師会市民公開健康講座に関するご案内です。開催日は、12月15日(日)14時～16時、場所はコミュニティセンター 文化ホールとなります。</p> <p>テーマは、「学ぼう 防ごう 足腰の痛み」ということで、第1部は近畿大学奈良病院 整形外科の山崎先生による講演、第2部は白庭病院 院長の小林先生による講演の予定です。市民公開健康講座のため、どなたでもご参加いただけます。</p> <p>いずれも本日郵送にて、各事業所に案内通知を送付しておりますので、参加申し込みをお願いいたします。なお、多職種連携研修会はチラシ裏面の申込書に必要事項を記入の上、FAXまたは、申込フォームからの受付を行っています。</p> <p>多職種連携研修会に関する報告は以上となります。</p>
部会長	<p>ただいまの内容についてご質問やご意見はありますか。それぞれまた案内がいくと思いますので、よろしくお願いいたします。それでは最後、その他の案件をお願いします。</p> <p>(3)その他</p>
事務局	<p>次回の開催は、11月28日(木)、メディカルセンター3階研修室にて開催いたします。今回は、今回の講演をベースにしたグループワークをメインに考えています。グループワークのファシリテーターとして、松本先生にも現地にお越しいただき、ご参加いただく予定にしております。お忙しいとは思いますが、お時間調整の上、ご参加をお願いします。</p> <p>3 閉会</p>
部会長	<p>これで今日の案件は全て終了です。お疲れ様でした。またよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>それではZoomからの退出をお願いいたします。また次回もよろしくお願いいたします。</p>